



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE : GCC の SWF (政府系投資基金) の現状

(11月19日付現地各紙)

11月18日からアブダビで開催された MEED 主催の国際会議での SWF に関する参加者の発言等。
(注: SWF (Sovereign Wealth Fund、政府系投資基金) とは、中東諸国や中国が豊富な原油収入や外貨準備高の一部を運用するもので、近年規模が急拡大する一方、その実態が公開されていないため、国際金融市場や世界経済に対する攪乱要因になりうるとしてその動向が注目されている。)

1. HSBC のユーセフ・ナーサ中東担当 CEO は、アブダビは今後も中国、インド等から安定した需要に支えられた原油収入を確保し続け、今後も高価格を維持する原油に支えられて多額の投資資金を確保し続ける他、6,500 億ドルの資産を保有する世界最大の SWF であるアブダビ投資庁では、米国債、株式、土地等の伝統的資産への投資から、更なる配当を求めて投資先をアジアなどの新興市場に移すことが議論されていると述べた。
2. マッキンゼーのキト・デ・ボア中東担当社長は、今後原油価格が 2020 年まで平均 50 ドルを維持する場合、GCC6 力国が得る石油収入に基づく投資可能資金は 2 兆ドルで、このうちアブダビ首長国の資金は 8,000 億ドルに達すると見られている。
3. スタンダード・チャータード銀行が今年 9 月に発表した報告書によると、湾岸諸国の SWF が保有する資産は 1 兆ドルに達するが、このうちアブダビ投資庁が 6,500 億ドルを占めると見られている。これら SWF は、最近のドル安の影響で、投資先を米国からアジアに移す傾向がある。
4. 600 億ドルの資産を保有するカタール投資庁は、10月2日にドル安のために過去 2 年間で総資産に占めるドル建て比率が 40%まで減少したと発表している他、9月には同投資庁のプライベート・エクイティ部門長が、ドバイではドル安に伴い投資先をアジアにシフトしていることを明らかにしている。
5. 2,130 億ドル以上の資産を保有するクウェイト投資庁は、3月31日に 2005 年のアジア資産を 2 倍にすることを決定した。加えて 7 月には、同投資庁のアル・サゴウビ総局長が、西欧、オーストラリア、ロシア、中国、ベトナムへの投資を検討していると述べている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799